

おわりに

仁愛女子短期大学 教授 西畑敏秀

『SOCIUS』について

本誌名「SOCIUS」は禿正宣学長が名付けました。「SOCIUS」とは、ラテン語で「仲間」、「友」というを意味だそうです。この言葉から「societas」という「親交、友愛、絆」を意味する言葉ができ、社会を意味するsocietyという英語が生まれたと言われていています。また、「SOCIUS」という言葉は「分かち合っている・結びつけられた」という意味を持つ形容詞でもあります。当センターが地域と短大を結び合わせることによって、新しい仲間が増え、つながり合い、愛や絆が無意識的に感じられるような「社会づくり」を目指したいという願いが込められているということです。

当センターは、生活科学学科・幼児教育学科・音楽学科に設置されていたそれぞれの研究センターを平成18年4月に「地域活動実践センター」に統合して設立されました。その目的は、仁愛女子短期大学の建学の精神である「仁愛兼済」を実践するため、短大が保有する知識等の資源を地域社会に提供し、地域社会の発展と文化の向上に資することです。

平成22年度の主な活動として、①公開講座、講習会等の開催、②地域の教育活動を支援するための教職員派遣、③学生・教職員によるボランティア活動の支援、④教員免許状更新講習、⑤福井県保育所保育指針研修会、⑥機関誌の発行等の事業に取り組みました。その実施・活動報告書として、運営委員等のご尽力・ご協力により、今回「SOCIUS」第5号を発行することができました。

これからさらに本センターが地域に貢献するためには、本学が有している教育資源をどのように有効利用するかについて、その方策を考えなければならないと思います。そのためにも今後とも、関係者の皆様のご協力とご理解をよろしくお願いいたします。